

# 序章 「意識の流れ」からのスタート

私が、一生かけて知りえた真実を伝えたいと思いますが、如何でしょうか。

1. 人間はなぜ生まれてくるのでしょうか。
2. 地球人類はどうして数え切れないほど転生を繰り返してきたのでしょうか。
3. 現在の人類は、まったく生き方が間違っています。人間は意識、エネルギーであり永遠に存在します。意識の転回が絶対重要です。(コペルニクスの転回)
4. すべては愛です。やがてその事実が現象化してくるでしょう。天変地異、愛に目覚める絶好のチャンス。
5. 私は、250年後、アメリカの地に転生します。そして、皆さんと共に次元移行を果たしていきます。
6. 間もなく肉体を置いていきますが、死後も仕事をしていきます。ただただ喜びです。幸せです。
7. あなたは愛です。信じていきましょう。私はあなた、あなたは私、一つ。初めから幸せ、喜び、温もり、大きい大きい存在です。もっともっと心を大きくして生きていてください。
8. 私よりも、もっともっと長く生きて、真実を知ってください。喜んで、すべてにありがとうと思いを発信しながら今世を閉じていきませんか。

お母さんの腕に抱かれ、お乳を頂きながら、すべを委ね安心していた自分(0歳)を思い起こしていきましょう。できるだけ「お母さん、お母さん、お母さん」と呼び続けていきませんか。では、お健やかに。

田池留美



2015年1月「意識の流れ」初版が発行され、その年の9月から12月にかけて、岐阜県の下呂温泉「水明館」、滋賀県の「琵琶湖グランドホテル」において3回にわたって「意識の流れ・出版記念セミナー」が開催された。

私はこれまで約 20 年にわたって、主にこの日本の国でセミナーを開かせていただきました。それはある年齢に達したとき、私はひとつの仕事をするために生まれてきたことが、自分の中で見えてきたからです。

私は、自分の心を見るという作業を通して、自分の心で分かってきたことがあったのです。

そして、何らかの形で私は自分の心で分かったことをお伝えしたい、また、お伝えすることが私の喜びであるという思いを強く持つようになりました。また、このことは決して片手間ではできないことであり、私のすべてを懸けてお伝えしたいと心から思いました。

そして、それがセミナーという形となって、約 20 年間続けさせてもらったということです。

私はお伝えすることが喜びという思いだけで今日まで存在してきましたし、その思いは、これからも全く変わることはありません。

私は、セミナーに私のすべてを注ぎました。私にはセミナーで名を残そうとか、財を築こうとか、セミナーに集ってくる人々を救っていかうとか、そういう思いは一切ありませんでした。ただ私は喜びでセミナーを開かせてもらい、喜びでセミナーを閉じていだけでした。

セミナーに集ってきた人達は私の肉声を通し、また印刷物を通し、一通りのことはすでにご承知です。しかし、そういった方々でも本当にお伝えしたいことを分

かっていただくのは難しいというのが、実際のところでした。それは本当のことはあなたの頭では理解できない、あなたの頭脳を遥かに超えたところに真実があるということが、なかなか理解してもらえなかったからです。

頭ではなく、知識としてではなく、自分の心で分かるということが分からない、難しかったということでしょう。私達人間は、五官、すなわち目、耳、鼻、舌、皮膚を通して感じる世界が本当の世界であると思ひ、今、目の前に広がっている形の世界に自分は生きていると思ってきたし、今も思っています。確かに目に見えて、耳で聞こえて、手に触れるものがある世界は実

感があります。その世界こそが現実の世界であると信じて疑わない思いが、非常に強いのです。そして、その中で幸せになろう、喜びを見出そうと、それぞれが「人生」と呼ばれる時間の中で一生懸命生きています。しかし、私は、その思い、その考えが根本的に間違っているということ、約二十年かけてセミナーに集ってくる方々に伝えてまいりました。

(「意識の流れ」増補改訂版)